

第2次山辺町地球温暖化対策実行計画

(事務事業編)

令和4年3月策定

令和8年1月一部改定

山形県山辺町

目 次

| | |
|----------------------|----|
| 第1章 計画策定の背景と目的 | |
| 1. 計画策定の背景 | 2 |
| 2. 計画策定の目的 | 2 |
| 第2章 第1次実行計画の概要及び取組結果 | |
| 1. 第1次実行計画の概要 | 4 |
| 2. 削減目標 | 4 |
| 3. 取組結果 | 4 |
| 第3章 基本的事項 | |
| 1. 基準年度・計画期間・目標年度 | 6 |
| 2. 対象範囲 | 6 |
| 3. 対象とする温室効果ガス | 6 |
| 第4章 二酸化炭素の排出状況及び削減目標 | |
| 1. 基準年度の二酸化炭素排出量 | 7 |
| 2. 要因別の排出状況 | 7 |
| 3. 削減目標 | 8 |
| 第5章 具体的な取組 | |
| 1. 職員共通の取組 | 9 |
| 2. 物品購入等 | 10 |
| 第6章 推進・点検体制及び進捗状況の公表 | |
| 1. 推進体制 | 11 |
| 2. 点検体制 | 11 |
| 3. 進捗状況の公表 | 11 |
| 第7章 参考資料 | 12 |

第1章 計画策定の背景と目的

1. 計画策定の背景

(1) 気候変動の影響

地球温暖化問題は、その予想される影響の大きさや深刻さから見て、人類の生存基盤に関わる安全保障の問題と認識されており、最も重要な環境問題の一つとされています。既に世界的にも平均気温の上昇、雪氷の融解、海面水位の上昇が観測されています。

令和3(2021)年8月には、IPCC第6次評価報告書第1作業部会報告書が公表され、同報告書では、人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がないこと、大気、海洋、雪氷圏及び生物圏において、広範囲かつ急速な変化が現れていること、気候システムの多くの変化(極端な高温や大雨の頻度と強度の増加、強い熱帯低気圧の割合の増加等)は、地球温暖化の進行に直接関係して拡大することが示されました。

個々の気象現象と地球温暖化との関係を明確にすることは容易ではありませんが、今後、地球温暖化の進行に伴い、このような猛暑や豪雨のリスクは更に高まることが予測されています。

(2) 地球温暖化対策を巡る国際的な動向

平成27(2015)年11月から12月にかけて、フランス・パリにおいて、COP21が開催され、京都議定書以来18年ぶりの新たな法的拘束力のある国際的な合意文書となるパリ協定が採択されました。

合意に至ったパリ協定は、国際条約として初めて「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2°Cより十分低く保つとともに、1.5°Cに抑える努力を追求すること」や「今世紀後半の温室効果ガスの人為的な排出と吸収の均衡」を掲げたほか、附属書I国(いわゆる先進国)と非附属書I国(いわゆる途上国)という附属書に基づく固定された二分論を超えた全ての国の参加、5年ごとに貢献(nationally determined contribution)を提出・更新する仕組み、適応計画プロセスや行動の実施等を規定しており、国際枠組みとして画期的なものと言えます。

平成31(2018)年に公表されたIPCC「1.5°C特別報告書」によると、世界全体の平均気温の上昇を、2°Cを十分下回り、1.5°Cの水準に抑えるためには、CO2排出量を令和32(2050)年頃に正味ゼロとすることが必要とされています。この報告書を受け、世界各国で、令和32(2050)年までのカーボンニュートラルを目標として掲げる動きが広がりました。

(3) 地球温暖化対策を巡る国内の動向

令和 2 (2020) 年 10 月、我が国は、令和 32 (2050) 年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち、令和 32 (2050) 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。翌令和 3 (2021) 年 4 月、地球温暖化対策推進本部において、令和 12 (2030) 年度の温室効果ガスの削減目標を平成 25 (2013) 年度比 46%削減することとし、さらに、50%の高みに向けて、挑戦を続けていく旨が公表されました。

また、令和 3 (2021) 年 6 月に公布された地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律 (令和 3 年法律第 54 号) では、令和 32 (2050) 年までの脱炭素社会の実現を基本理念として法律に位置付け、区域施策編に関する施策目標の追加や、地域脱炭素化促進事業に関する規定が新たに追加されました。政策の方向性や継続性を明確に示すことで、国民、地方公共団体、事業者等に対し予見可能性を与え、取組やイノベーションを促すことを狙い、さらに、市町村においても区域施策編を策定するよう努めるものとされています。

さらに、令和 3 (2021) 年 6 月、国・地方脱炭素実現会議において「地域脱炭素ロードマップ」が決定されました。脱炭素化の基盤となる重点施策 (屋根置きなど自家消費型の太陽光発電、公共施設など業務ビル等における徹底した省エネと再エネ電気調達と更新や改修時の ZEB 化誘導、ゼロカーボン・ドライブ等) を全国津々浦々で実施する、といったこと等が位置付けられています。

令和 7 (2025) 年 2 月には、新たな地球温暖化対策計画の閣議決定がなされ、2050 年ネット・ゼロの実現や、我が国の温室効果ガス削減目標として「2030 年度において、温室効果ガスを 2013 年度から 46%削減することを目指すこと。さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく。また、2035 年度、2040 年度において、温室効果ガスを 2013 年度からそれぞれ 60%、73%削減することを目指す」という新たな削減目標が位置付けられました。

同年同月には、政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の削減等のため実行すべき措置について定める計画 (政府実行計画) の改定も行われました。温室効果ガス排出削減目標をこれまでの令和 12 (2030) 年度までに 50%削減 (平成 25 (2013) 年度比) に加え、令和 17 (2035) 年度までに 65%削減、令和 22 (2040) 年度までに 79%削減することも目標として新たに掲げられ、その目標達成に向け、引き続き太陽光発電の導入、新築建築物の ZEB 化、電動車の導入、LED 照明の導入、再生可能エネルギー電力調達等について、政府自らが率先して実行する方針が示されました。

2. 計画策定の目的

第2次山辺町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「本計画」という。）は、地球温暖化対策推進法の第21条第1項に基づき、地球温暖化対策計画に即して策定した「山辺町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」（以下「第1次計画」という。）の計画期間が令和元（2019）年度で終了したことを受け、令和2（2020）年度は前年度までの取組みを継続しながら分析を行い、山辺町が実施している事務及び事業に関し、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取組を推進し、温室効果ガスの排出量を削減することを目的として策定するものです。

なお、地球温暖化対策実行計画には市町村の事務及び事業に関し温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化のための措置について定める「事務事業編」に対し、その区域の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出の抑制等のための総合的かつ計画的な施策を定める「区域施策編」がありますが、こちらの策定については努力義務となっています。

第2章 第1次実行計画の概要及び取組結果

1. 第1次実行計画の概要

基準年度：平成25（2013）年度

計画期間：平成27（2015）年度～令和元（2019）年度までの5年間

2. 削減目標

第1次実行計画では、令和元（2019）年度における山辺町の事務事業に伴う二酸化炭素排出量を基準年度である平成25（2013）年度から6.0%の削減を目標としました。

3. 取組結果

（1）エネルギー使用による二酸化炭素排出量

令和元年度の山辺町の事務事業に伴う二酸化炭素排出量は、1,107,858kg-CO₂となり、基準年度である平成25（2013）年度から15.9%の削減となっています。下記のエネルギーごとの二酸化炭素排出量をみると、ほとんどの項目において削減することができましたが、LPGの使用による二酸化炭素排出量については大幅に増加しています。主な原因として、「地球温暖化防止等による省エネルギー対策～やまのベエコスタイル～」による電気使用量の抑制や照明器具のLED化、東北電力（株）が提供する排出係数（発電に伴う二酸化炭素排出量の割合）の変動による減少と、中学校の新築に伴う使用量の変化による増加があげられます。内訳等の詳細は第7章の参考資料を参照してください。なお、比較にあたっては基準年度のエネルギー使用量を再度精査し、より正確な数値を用いました。

<表1>

単位：(kg-CO₂)

| 区分 | エネルギー | 基準年度排出量 平成25年度 | 実績値 令和元年度 | 削減率 |
|-----------------------------|-------|-------------------|--------------|-----------|
| 二酸化炭素 (CO ₂) | 電気 | 948,184 | 737,464 | 22.2% |
| | 灯油 | 193,243 | 85,193 | 55.9% |
| | 重油 | 121,933 | 110,846 | 9.1% |
| | 軽油 | 11,226 | 8,325 | 25.8% |
| | ガソリン | 31,943 | 27,625 | 13.5% |
| | LPG※ | 11,127 | 138,405 | ▲1143.9% |
| | 計 | | 1,317,656 | 1,107,858 |

※LPG … プロパン等を主成分とする液化石油ガス

(2) 具体的取組みについて

「いきいきタウン やまのベエコスタイル」の中で継続的に冷暖房に頼りすぎない取組みを行っており、暑さ指数（WBGT）を活用した使用基準の明確化や設定温度の取り決めを実施しました。

第3章 基本的事項

1. 基準年度・計画期間・目標年度

本計画の基準年度を引き続き平成25（2013）年度とし、計画期間を令和3（2021）年度～令和12（2030）年度までとします。

目標年度については、令和12（2030）年度とします。

なお、本計画の実施状況や技術の進歩、社会情勢の変化に合わせ、令和7（2025）年度に見直しを行いました。

※ 基準年度とは、各年度における温室効果ガス排出量の増減を比較検討するための基準として、各地方自治体が独自に設定する年度をいいます。

2. 対象範囲

(1) 対象とする事務及び事業の範囲

山辺町が行うすべての事務及び事業とします。

(2) 対象とする施設の範囲

出先機関等を含めた山辺町すべての施設とします。指定管理者に対しても、管理する町の施設に関わる事務及び事業について、省エネルギーに努めるよう求めるものとします。

3. 対象とする温室効果ガス

山辺町には下水処理施設や麻酔剤（笑気ガス）を使用する大規模病院が存在しないため、CH₄ や N₂O 等の排出による影響は小さいと考えられます。そのため、本計画が対象とする温室効果ガスは、地球温暖化対策推進法第2条第3項に掲げる7種類の物質のうち、排出量の多くを占めている二酸化炭素（CO₂）のみとします。

第4章 二酸化炭素の排出状況及び削減目標

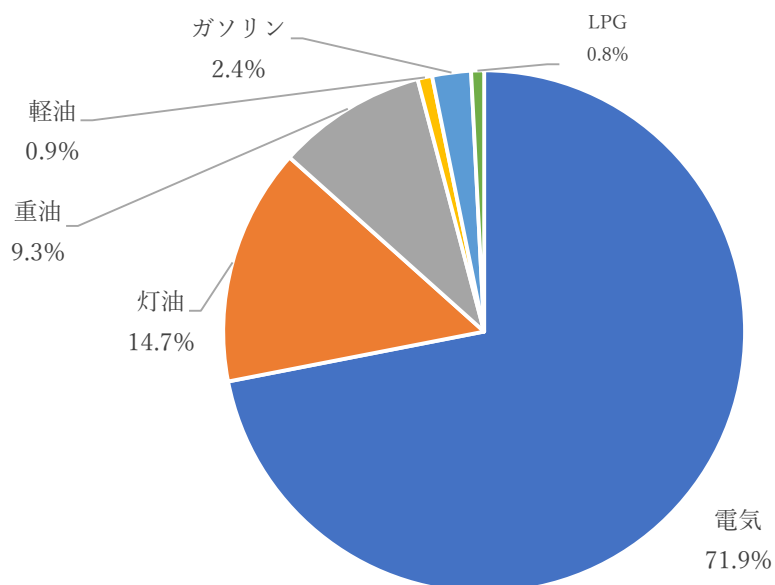
1. 基準年度の二酸化炭素排出量

本計画の基準年度である平成25（2013）年度の山辺町の事務及び事業における二酸化炭素排出量は、1,317,656 kg-CO₂です。

| 区分 | エネルギー | 排出量 (kg-CO ₂) | 割合 |
|-----------------------------|-------|---------------------------|-----------|
| 二酸化炭素 (CO ₂) | 電気 | 948,184 | 71.9% |
| | 灯油 | 193,243 | 14.7% |
| | 重油 | 121,933 | 9.3% |
| | 軽油 | 11,226 | 0.9% |
| | ガソリン | 31,943 | 2.4% |
| | LPG | 11,127 | 0.8% |
| | 計 | | 1,317,656 |

2. 要因別の排出状況

基準年度である平成25（2013）年度の二酸化炭素排出量を排出要因別に見ると、電気の使用に伴って排出される二酸化炭素が全体の71.9%を占め、次いで灯油が14.7%、重油が9.3%で全体の96.0%を占めています。



3. 削減目標

平成25（2013）年度を基準年として、計画期間の最終年度である令和12（2030）年度の二酸化炭素排出量を、50.0%削減することを目標とします。

単位：(kg-CO₂)

| 区分 | 基準年度排出量 平成25年度 | 削減目標 | 目標年度排出量 令和12年度 |
|-----------------------------|-------------------|-------|-------------------|
| 二酸化炭素 (CO ₂) | 1,317,656 | 50.0% | 658,828 |

参考

単位：(kg-CO₂)

| 区分 | エネルギー | 基準年度排出量 平成25年度 | 令和6年度 | 削減率(%) |
|-----------------------------|-------|-------------------|---------|-----------|
| 二酸化炭素 (CO ₂) | 電気 | 948,184 | 377,020 | 60.2 |
| | 灯油 | 193,243 | 62,488 | 67.7 |
| | 重油 | 121,933 | 115,619 | 5.2 |
| | 軽油 | 11,226 | 8,239 | 26.6 |
| | ガソリン | 31,943 | 26,907 | 15.8 |
| | LPG | 11,127 | 151,052 | △ 1,257.5 |
| | 計 | 1,317,656 | 741,325 | 43.7 |

第5章 具体的な取組

1. 職員共通の取組

本計画では、職員一人ひとりの環境配慮意識の向上が重要であり、次に示す取組みを励行することが重要です。

また、循環型社会を構築するためには、3R「リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用）」が不可欠であり、特に「リデュース・リユース」を一層進めることが求められています。

①電気使用量の削減

- ・廊下、ホール、事務室等の照明を適正管理し、利用実態に応じて間引き消灯を行う。
- ・効果的・計画的な事務処理に努め、夜間の残業の削減を図り照明の点灯時間の削減に努める。
- ・始業前、昼休み及び始業後は必要最小限の照明とする。
- ・会議室、書庫、トイレ等で利用者がいない場合は消灯する。
- ・退庁時に身の回りの電気器具の電源が切られていることを確認する。
- ・使用しないOA機器等の電源をこまめに切り、不要なコンセントは抜くように努める。
- ・執務室の温度管理を適正にし、クールビズ、ウォームビズを実施する。
※ ただし、災害時や昨今の熱中症対策によるクーリングシェルター設置、感染症対策の必要性を鑑み、ガイドライン等で推奨される衛生環境を維持するために必要な冷暖房使用の措置については、過度にならない範囲で電気使用量抑制に努めることとする。
- ・ブラインド等を活用し、執務室の適正な温度管理に努める。
- ・空調機器のフィルター類を適切に清掃し、送風効率を向上させる。
- ・職員によるエレベーター使用を抑制する。
- ・設備更新の際には、省エネルギー型空調設備の選定に努める。
- ・LED照明の導入を進める。既存設備を含めて施設全体のLED照明の導入割合を100%とすることを目指す。

②燃料使用量の削減

- ・急発進、急加速をしないなど、エコドライブを徹底する。
- ・公用車一元管理による車両の適正な整備・管理に努める。
- ・公用車を3分以上停車する場合にはエンジンを切り、無駄なアイドリングは控える。
- ・車両更新にあたっては、原則的に電動車（EV・FCV・PHEV・HV）を導入し、代替可能な電動車がない場合等を除き、全て電動車とすることを目指す。

(EV:電気自動車、FCV:燃料電池自動車、PHEV:プラグインハイブリッド自動車、HV:ハイブリッド自動車)

- ・ストーブ、ボイラー等の暖房器具の過剰使用を抑制する。

③水道使用量の削減

- ・日常的に節水を心がける。
- ・洗面所等の水栓について、自動水栓など節水に有効な器具等を設置する。

④用紙使用量の削減

- ・会議資料や添付資料等はできる限り簡素化を図り、両面印刷・両面コピーを徹底し、用紙の削減に努める。
- ・会議資料や添付資料等はできる限り簡素化を図る。
- ・コピーや印刷による資料作成については、必要最小限の部数を作成する。
- ・通知や会議資料等には、極力電子媒体を活用する。

⑤廃棄物排出量の削減

- ・片面のみを使用した用紙類は、裏面の有効活用に努める。
- ・用紙類は適正に分別し、資源回収の徹底を図る。
- ・物品の再利用や修理による長期利用に努め、ゴミの減量化を図る。
- ・物品の管理を徹底し、購入の無駄をなくすように努める。
- ・廃棄物の分別排出の徹底に努める。
- ・使い捨て製品の使用を極力控える。
- ・マイ箸、マイボトル、マイバック運動及びプラスチックゴミを減らすための行動を徹底する。

⑥再生可能エネルギーの導入、調達

- ・補助金等を活用しながら、太陽光発電やバイオマスエネルギー等の再生可能エネルギーの導入に努める。
- ・調達する電力を再生可能エネルギーとすることに努める。

⑦職員のワークライフバランスの確保

- ・事務の見直しによる残業の削減や、計画的な定時退庁の実施を推進する。
- ・テレワークの推進やWeb会議システムの積極的な活用を進める。

2. 物品購入等

- ・ 事務用品は、市場で選ばれる環境整備のため、GX 製品の率先調達に取り組む。
(GX 製品：製品単位の削減実績量や削減貢献量がより大きいもの、CFP(カーボンフットプリント)がより小さいもの)
- ・ 事務用品は、詰め替えやリサイクル可能な消耗品を購入する。
- ・ 使い捨て製品の購入を控える。

第6章 推進・点検体制及び進捗状況の公表

1. 推進体制

「推進本部」「推進担当者」「事務局」を設け、計画の着実な推進と進行管理を行います。

(1) 推進本部

町長を本部長、副町長を副本部長とし、教育長及び管理職等の構成員をもって組織し、計画の策定、見直し及び計画の推進点検を行います。

(2) 推進担当者

各課及び各出先機関に1名以上の「推進担当者」を置きます。「推進担当者」は計画の推進及び進捗状況を把握しつつ、計画の総合的な推進を図ります。

(3) 事務局

事務局を環境部門担当課に置き、計画全体の推進及び進捗状況を把握し、総合的な進行管理を行います。

2. 点検体制

「推進担当者」は各課における進捗状況を把握し、定期的にエネルギー使用量等を「事務局」に報告します。

全庁的な取組みの実施状況については、「事務局」で取りまとめ評価を行い、総合的な点検・評価に基づき必要に応じて是正及び予防措置を行います。

3. 進捗状況の公表

計画の進捗状況、点検評価結果等の温室効果ガス排出量については、必要に応じて広報紙やホームページ等により公表します。

第7章 参考資料

<表1の内訳>

電気(kWh)

| 区分 | | 平成25年度 (基準年度) | 令和元年度 | 令和6年度 | 基準年度対令和6年度 | |
|---------|----------|------------------|-----------|-----------|------------|--------|
| | | | | | 増減 | 削減率(%) |
| 役場庁舎 | 使用料 | 375,342 | 303,003 | 238,177 | △ 137,165 | 36.5 |
| | 排出量(CO2) | 221,827 | 159,986 | 113,610 | △ 108,217 | 48.8 |
| 中支所 | 使用料 | 21,044 | 9,955 | 11,390 | △ 9,654 | 45.9 |
| | 排出量(CO2) | 12,437 | 5,256 | 5,433 | △ 7,004 | 56.3 |
| 作谷沢支所 | 使用料 | 27,369 | 20,168 | 16,079 | △ 11,290 | 41.3 |
| | 排出量(CO2) | 16,175 | 10,649 | 7,670 | △ 8,505 | 52.6 |
| 安達保育所 | 使用料 | 56,150 | 58,148 | 56,358 | 208 | △ 0.4 |
| | 排出量(CO2) | 33,185 | 30,702 | 26,883 | △ 6,302 | 19.0 |
| 保健センター | 使用料 | 118,969 | 145,546 | 158,309 | 39,340 | △ 33.1 |
| | 排出量(CO2) | 70,311 | 76,848 | 75,513 | 5,202 | △ 7.4 |
| 旧中作保育所 | 使用料 | 2,618 | 0 | | △ 2,618 | 100.0 |
| | 排出量(CO2) | 1,547 | 0 | | △ 1,547 | 100.0 |
| 緑ヶ丘コミセン | 使用料 | | 10,991 | 12,752 | 12,752 | |
| | 排出量(CO2) | | 5,803 | 6,083 | 6,083 | |
| 山辺小 | 使用料 | 363,674 | 285,643 | 368,271 | 4,597 | △ 1.3 |
| | 排出量(CO2) | 214,931 | 150,820 | 0 | △ 214,931 | 100.0 |
| 旧大寺小 | 使用料 | 86,921 | 0 | 38,952 | △ 47,969 | 55.2 |
| | 排出量(CO2) | 51,370 | 0 | 18,580 | △ 32,790 | 63.8 |
| 相模小 | 使用料 | 110,572 | 93,037 | 95,346 | △ 15,226 | 13.8 |
| | 排出量(CO2) | 65,348 | 49,124 | 0 | △ 65,348 | 100.0 |
| 旧作谷沢小中 | 使用料 | 57,534 | 47,386 | 12,451 | △ 45,083 | 78.4 |
| | 排出量(CO2) | 34,003 | 25,020 | 5,939 | △ 28,064 | 82.5 |
| 山辺中 | 使用料 | 140,051 | 205,666 | 226,249 | 86,198 | △ 61.5 |
| | 排出量(CO2) | 82,770 | 108,592 | 0 | △ 82,770 | 100.0 |
| 給食センター | 使用料 | 73,631 | 72,097 | 85,167 | 11,536 | △ 15.7 |
| | 排出量(CO2) | 46,516 | 38,067 | 40,625 | △ 5,891 | 12.7 |
| 中央公 | 使用料 | 102,170 | 84,411 | 90,282 | △ 11,888 | 11.6 |
| | 排出量(CO2) | 60,382 | 44,569 | 43,065 | △ 17,317 | 28.7 |
| 東部公 | 使用料 | 8,046 | 7,918 | 7,310 | △ 736 | 9.1 |
| | 排出量(CO2) | 4,755 | 4,181 | 3,487 | △ 1,268 | 26.7 |
| 南部公 | 使用料 | 15,524 | 13,310 | 12,086 | △ 3,438 | 22.1 |
| | 排出量(CO2) | 9,175 | 7,028 | 5,765 | △ 3,410 | 37.2 |
| 北部公 | 使用料 | 14,348 | 15,325 | 21,105 | 6,757 | △ 47.1 |
| | 排出量(CO2) | 8,480 | 8,092 | 10,067 | 1,587 | △ 18.7 |
| 大寺公 | 使用料 | 6,413 | 6,764 | 6,280 | △ 133 | 2.1 |
| | 排出量(CO2) | 3,790 | 3,571 | 2,996 | △ 794 | 21.0 |
| 相模公 | 使用料 | 10,404 | 9,190 | 12,599 | 2,195 | △ 21.1 |
| | 排出量(CO2) | 6,149 | 4,852 | 6,010 | △ 139 | 2.3 |
| 近江公 | 使用料 | 8,516 | 8,152 | 11,102 | 2,586 | △ 30.4 |
| | 排出量(CO2) | 5,033 | 4,304 | 5,296 | 263 | △ 5.2 |
| 合計 | 使用料 | 1,599,296 | 1,396,710 | 1,480,265 | △ 119,031 | 7.4 |
| | 排出量(CO2) | 948,184 | 737,464 | 377,020 | △ 571,164 | 60.2 |

灯油(ℓ)

| 区分 | | 平成25年度 (基準年度) | 令和元年度 | 令和6年度 | 基準年度対令和6年度 | |
|---------|----------|------------------|--------|--------|------------|--------|
| | | | | | 増減 | 削減率(%) |
| 役場庁舎 | 使用料 | 5,001 | 700 | 1,000 | △ 4,001 | 80.0 |
| | 排出量(CO2) | 12,450 | 1,743 | 2,503 | △ 9,947 | 79.9 |
| 中支所 | 使用料 | 1,091 | 1,067 | 530 | △ 561 | 51.4 |
| | 排出量(CO2) | 2,716 | 2,656 | 1,326 | △ 1,390 | 51.2 |
| 作谷沢支所 | 使用料 | 1,520 | 604 | 470 | △ 1,050 | 69.1 |
| | 排出量(CO2) | 3,784 | 1,504 | 1,176 | △ 2,608 | 68.9 |
| 安達保育所 | 使用料 | 10,547 | 8,121 | 7,838 | △ 2,710 | 25.7 |
| | 排出量(CO2) | 26,257 | 20,217 | 19,615 | △ 6,642 | 25.3 |
| 保健センター | 使用料 | 5,328 | 3,872 | 1,625 | △ 3,703 | 69.5 |
| | 排出量(CO2) | 13,264 | 9,639 | 4,067 | △ 9,197 | 69.3 |
| 旧中作保育所 | 使用料 | 1,859 | 0 | | △ 1,859 | 100.0 |
| | 排出量(CO2) | 4,628 | 0 | | △ 4,628 | 100.0 |
| 緑ヶ丘コミセン | 使用料 | | 0 | 0 | 0 | |
| | 排出量(CO2) | | 0 | 0 | 0 | |
| 山辺小 | 使用料 | 288 | 228 | 350 | 62 | △ 21.5 |
| | 排出量(CO2) | 717 | 568 | 876 | 159 | △ 22.2 |
| 旧大寺小 | 使用料 | 2,833 | 0 | 0 | △ 2,833 | 100.0 |
| | 排出量(CO2) | 7,053 | 0 | 0 | △ 7,053 | 100.0 |
| 相模小 | 使用料 | 1,800 | 1,487 | 200 | △ 1,600 | 88.9 |
| | 排出量(CO2) | 4,481 | 3,702 | 501 | △ 3,980 | 88.8 |
| 旧作谷沢小中 | 使用料 | 8,078 | 8,000 | 1,253 | △ 6,825 | 84.5 |
| | 排出量(CO2) | 20,110 | 19,916 | 3,135 | △ 16,975 | 84.4 |
| 山辺中 | 使用料 | 26,938 | 0 | 0 | △ 26,938 | 100.0 |
| | 排出量(CO2) | 67,062 | 0 | 0 | △ 67,062 | 100.0 |
| 給食センター | 使用料 | 498 | 402 | 459 | △ 39 | 7.8 |
| | 排出量(CO2) | 1,240 | 1,001 | 1,149 | △ 91 | 7.4 |
| 中央公 | 使用料 | 2,308 | 2,438 | 2,835 | 527 | △ 22.8 |
| | 排出量(CO2) | 5,746 | 6,069 | 7,095 | 1,349 | △ 23.5 |
| 東部公 | 使用料 | 1,080 | 1,507 | 1,050 | △ 30 | 2.8 |
| | 排出量(CO2) | 2,689 | 3,752 | 2,628 | △ 61 | 2.3 |
| 南部公 | 使用料 | 2,412 | 382 | 1,118 | △ 1,294 | 53.6 |
| | 排出量(CO2) | 6,004 | 951 | 2,798 | △ 3,206 | 53.4 |
| 北部公 | 使用料 | 1,171 | 1,424 | 1,617 | 446 | △ 38.1 |
| | 排出量(CO2) | 2,915 | 3,545 | 4,048 | 1,133 | △ 38.9 |
| 大寺公 | 使用料 | 1,131 | 620 | 1,158 | 27 | △ 2.4 |
| | 排出量(CO2) | 2,816 | 1,543 | 2,898 | 82 | △ 2.9 |
| 相模公 | 使用料 | 2,590 | 2,238 | 2,260 | △ 330 | 12.7 |
| | 排出量(CO2) | 6,448 | 5,571 | 5,656 | △ 792 | 12.3 |
| 近江公 | 使用料 | 1,150 | 1,131 | 1,206 | 56 | △ 4.9 |
| | 排出量(CO2) | 2,863 | 2,816 | 3,018 | 155 | △ 5.4 |
| 合計 | 使用料 | 77,623 | 34,221 | 24,968 | △ 52,654 | 67.8 |
| | 排出量(CO2) | 193,243 | 85,193 | 62,488 | △ 130,755 | 67.7 |

重油(ℓ)

| 区分 | | 平成25年度 (基準年度) | 令和元年度 | 令和6年度 | 基準年度対令和6年度 | |
|---------|----------|------------------|---------|---------|------------|--------|
| | | | | | 増減 | 削減率(%) |
| 役場庁舎 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 中支所 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 作谷沢支所 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 安達保育所 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 保健センター | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 旧中作保育所 | 使用料 | 0 | 0 | | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | | 0 | 0 |
| 緑ヶ丘コミセン | 使用料 | | 0 | 0 | | |
| | 排出量(CO2) | | 0 | 0 | | |
| 山辺小 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 旧大寺小 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 相模小 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 旧作谷沢小中 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 山辺中 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 給食センター | 使用料 | 45,000 | 37,000 | 42,000 | △ 3,000 | 6.7 |
| | 排出量(CO2) | 121,933 | 110,846 | 115,619 | △ 6,314 | 5.2 |
| 中央公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 東部公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 南部公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 北部公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 大寺公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 相模公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 近江公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 使用料 | 45,000 | 37,000 | 42,000 | △ 3,000 | 6.7 |
| | 排出量(CO2) | 121,933 | 110,846 | 115,619 | △ 6,314 | 5.2 |

LPガス(m³)

| 区分 | | 平成25年度 (基準年度) | 令和元年度 | 令和6年度 | 基準年度対令和6年度 | |
|---------|----------|------------------|---------|---------|------------|------------|
| | | | | | 増減 | 削減率(%) |
| 役場庁舎 | 使用料 | 11 | 0 | 0 | △ 11 | 100.0 |
| | 排出量(CO2) | 66 | 0 | 0 | △ 66 | 100.0 |
| 中支所 | 使用料 | 43 | 46 | 21 | △ 22 | 51.9 |
| | 排出量(CO2) | 254 | 275 | 134 | △ 120 | 47.3 |
| 作谷沢支所 | 使用料 | 41 | 31 | 28 | △ 14 | 32.9 |
| | 排出量(CO2) | 245 | 185 | 180 | △ 65 | 26.7 |
| 安達保育所 | 使用料 | 821 | 779 | 835 | 14 | △ 1.7 |
| | 排出量(CO2) | 4,900 | 4,647 | 5,453 | 553 | △ 11.3 |
| 保健センター | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 旧中作保育所 | 使用料 | 19 | 0 | | △ 19 | 100.0 |
| | 排出量(CO2) | 110 | 0 | | △ 110 | 100.0 |
| 緑ヶ丘コミセン | 使用料 | | 9 | 5 | 5 | |
| | 排出量(CO2) | | 56 | 31 | 31 | |
| 山辺小 | 使用料 | 48 | 47 | 6 | △ 42 | 88.4 |
| | 排出量(CO2) | 284 | 278 | 36 | △ 248 | 87.4 |
| 旧大寺小 | 使用料 | 50 | 0 | 0 | △ 50 | 100.0 |
| | 排出量(CO2) | 301 | 0 | 0 | △ 301 | 100.0 |
| 相模小 | 使用料 | 22 | 23 | 20 | △ 2 | 8.6 |
| | 排出量(CO2) | 131 | 137 | 131 | 0 | △ .2 |
| 旧作谷沢小中 | 使用料 | 16 | 14 | 0 | △ 16 | 100.0 |
| | 排出量(CO2) | 98 | 81 | 0 | △ 98 | 100.0 |
| 山辺中 | 使用料 | 21 | 21,650 | 21,640 | 21,619 | △ 103438.8 |
| | 排出量(CO2) | 125 | 129,203 | 141,255 | 141,130 | △ 112903.6 |
| 給食センター | 使用料 | 280 | 325 | 454 | 175 | △ 62.4 |
| | 排出量(CO2) | 1,669 | 1,940 | 2,965 | 1,296 | △ 77.7 |
| 中央公 | 使用料 | 206 | 63 | 27 | △ 179 | 87.1 |
| | 排出量(CO2) | 1,228 | 374 | 173 | △ 1,055 | 85.9 |
| 東部公 | 使用料 | 46 | 23 | 10 | △ 36 | 78.2 |
| | 排出量(CO2) | 274 | 140 | 65 | △ 209 | 76.2 |
| 南部公 | 使用料 | 75 | 36 | 12 | △ 64 | 84.6 |
| | 排出量(CO2) | 449 | 214 | 76 | △ 373 | 83.1 |
| 北部公 | 使用料 | 71 | 59 | 38 | △ 32 | 45.8 |
| | 排出量(CO2) | 421 | 349 | 249 | △ 172 | 40.8 |
| 大寺公 | 使用料 | 15 | 25 | 17 | 2 | △ 13.1 |
| | 排出量(CO2) | 91 | 147 | 113 | 22 | △ 24.1 |
| 相模公 | 使用料 | 34 | 29 | 10 | △ 25 | 71.4 |
| | 排出量(CO2) | 205 | 175 | 64 | △ 141 | 68.8 |
| 近江公 | 使用料 | 46 | 34 | 20 | △ 27 | 57.8 |
| | 排出量(CO2) | 276 | 204 | 127 | △ 149 | 53.9 |
| 合計 | 使用料 | 1,864 | 23,191 | 23,141 | 21,276 | △ 1141.2 |
| | 排出量(CO2) | 11,127 | 138,405 | 151,052 | 139,925 | △ 1257.5 |

ガソリン(ℓ)

| 区分 | | 平成25年度 (基準年度) | 令和元年度 | 令和6年度 | 基準年度対令和6年度 | |
|---------|----------|------------------|--------|--------|------------|---------|
| | | | | | 増減 | 削減率(%) |
| 役場庁舎 | 使用料 | 10,845 | 7,911 | 7,870 | △ 2,975 | 27.4 |
| | 排出量(CO2) | 25,178 | 18,367 | 18,024 | △ 7,154 | 28.4 |
| 中支所 | 使用料 | 30 | 240 | 318 | 288 | △ 948.1 |
| | 排出量(CO2) | 70 | 557 | 728 | 658 | △ 940.4 |
| 作谷沢支所 | 使用料 | 0 | 0 | 240 | 240 | |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 550 | 550 | |
| 安達保育所 | 使用料 | 158 | 120 | 40 | △ 118 | 74.7 |
| | 排出量(CO2) | 368 | 279 | 92 | △ 276 | 75.1 |
| 保健センター | 使用料 | 441 | 390 | 284 | △ 157 | 35.6 |
| | 排出量(CO2) | 1,025 | 905 | 651 | △ 374 | 36.5 |
| 旧中作保育所 | 使用料 | 0 | 0 | | 0 | |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | | 0 | |
| 緑ヶ丘コミセン | 使用料 | | 0 | 0 | 0 | |
| | 排出量(CO2) | | 0 | 0 | 0 | |
| 山辺小 | 使用料 | 360 | 240 | 320 | △ 40 | 11.1 |
| | 排出量(CO2) | 836 | 557 | 733 | △ 103 | 12.3 |
| 旧大寺小 | 使用料 | 360 | 0 | 0 | △ 360 | 100.0 |
| | 排出量(CO2) | 836 | 0 | 0 | △ 836 | 100.0 |
| 相模小 | 使用料 | 551 | 400 | 400 | △ 151 | 27.4 |
| | 排出量(CO2) | 1,279 | 929 | 916 | △ 363 | 28.4 |
| 旧作谷沢小中 | 使用料 | 386 | 480 | 0 | △ 386 | 100.0 |
| | 排出量(CO2) | 895 | 1,114 | 0 | △ 895 | 100.0 |
| 山辺中 | 使用料 | 617 | 445 | 480 | △ 137 | 22.2 |
| | 排出量(CO2) | 1,433 | 1,033 | 1,099 | △ 334 | 23.3 |
| 給食センター | 使用料 | 10 | 445 | 0 | △ 10 | 100.0 |
| | 排出量(CO2) | 23 | 1,033 | 0 | △ 23 | 100.0 |
| 中央公 | 使用料 | 0 | 28 | 596 | 596 | |
| | 排出量(CO2) | 0 | 65 | 1,365 | 1,365 | |
| 東部公 | 使用料 | 0 | 120 | 120 | 120 | |
| | 排出量(CO2) | 0 | 279 | 275 | 275 | |
| 南部公 | 使用料 | 0 | 120 | 120 | 120 | |
| | 排出量(CO2) | 0 | 279 | 275 | 275 | |
| 北部公 | 使用料 | 0 | 240 | 240 | 240 | |
| | 排出量(CO2) | 0 | 557 | 550 | 550 | |
| 大寺公 | 使用料 | 0 | 240 | 240 | 240 | |
| | 排出量(CO2) | 0 | 557 | 550 | 550 | |
| 相模公 | 使用料 | 0 | 240 | 240 | 240 | |
| | 排出量(CO2) | 0 | 557 | 550 | 550 | |
| 近江公 | 使用料 | 0 | 240 | 240 | 240 | |
| | 排出量(CO2) | 0 | 557 | 550 | 550 | |
| 合計 | 使用料 | 13,759 | 11,899 | 11,749 | △ 2,010 | 14.6 |
| | 排出量(CO2) | 31,943 | 27,625 | 26,907 | △ 5,036 | 15.8 |

軽油(ℓ)

| 区分 | | 平成25年度 (基準年度) | 令和元年度 | 令和6年度 | 基準年度対令和6年度 | |
|---------|----------|------------------|-------|-------|------------|--------|
| | | | | | 増減 | 削減率(%) |
| 役場庁舎 | 使用料 | 2,592 | 1,278 | 1,957 | △ 635 | 24.5 |
| | 排出量(CO2) | 6,700 | 3,304 | 5,126 | △ 1,574 | 23.5 |
| 中支所 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 作谷沢支所 | 使用料 | 0 | 0 | 20 | 20 | |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 52 | 52 | |
| 安達保育所 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 保健センター | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 旧中作保育所 | 使用料 | 0 | 0 | | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | | 0 | 0 |
| 緑ヶ丘コミセン | 使用料 | | 0 | 0 | 0 | |
| | 排出量(CO2) | | 0 | 0 | 0 | |
| 山辺小 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 旧大寺小 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 相模小 | 使用料 | 0 | 0 | 8 | 8 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 21 | 21 | 0 |
| 旧作谷沢小中 | 使用料 | 40 | 13 | 0 | △ 40 | 100 |
| | 排出量(CO2) | 103 | 34 | 0 | △ 103 | 100 |
| 山辺中 | 使用料 | 0 | 20 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 52 | 0 | 0 | 0 |
| 給食センター | 使用料 | 1,711 | 1,909 | 1,160 | △ 551 | 32.2 |
| | 排出量(CO2) | 4,423 | 4,935 | 3,039 | △ 1,384 | 31.3 |
| 中央公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 東部公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 南部公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 北部公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 大寺公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 相模公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 近江公 | 使用料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量(CO2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 使用料 | 4,343 | 3,220 | 3,145 | △ 1,198 | 27.6 |
| | 排出量(CO2) | 11,226 | 8,325 | 8,239 | △ 2,987 | 26.6 |

合計

| 区分 | | 平成25年度 (基準年度) | 令和元年度 | 令和6年度 | 基準年度対令和6年度 | |
|---------|----------|------------------|-----------|---------|------------|--------|
| | | | | | 増減 | 削減率(%) |
| 役場庁舎 | 排出量(CO2) | 266,221 | 183,400 | 139,264 | △ 126,957 | 47.7 |
| 中支所 | 排出量(CO2) | 15,477 | 8,744 | 7,622 | △ 7,855 | 50.8 |
| 作谷沢支所 | 排出量(CO2) | 20,204 | 12,338 | 9,627 | △ 10,577 | 52.3 |
| 安達保育所 | 排出量(CO2) | 64,710 | 55,845 | 52,042 | △ 12,668 | 19.6 |
| 保健センター | 排出量(CO2) | 84,600 | 87,392 | 80,231 | △ 4,369 | 5.2 |
| 旧中作保育所 | 排出量(CO2) | 6,285 | 0 | | △ 6,285 | 100.0 |
| 緑ヶ丘コミセン | 排出量(CO2) | | 5,859 | 6,114 | 6,114 | |
| 山辺小 | 排出量(CO2) | 216,768 | 152,223 | 1,645 | △ 215,123 | 99.2 |
| 旧大寺小 | 排出量(CO2) | 59,560 | 0 | 18,580 | △ 40,980 | 68.8 |
| 相模小 | 排出量(CO2) | 71,239 | 53,892 | 1,569 | △ 69,670 | 97.8 |
| 旧作谷沢小中 | 排出量(CO2) | 55,209 | 46,165 | 9,074 | △ 46,135 | 83.6 |
| 山辺中 | 排出量(CO2) | 151,390 | 238,880 | 142,354 | △ 9,036 | 6.0 |
| 給食センター | 排出量(CO2) | 175,804 | 157,822 | 163,397 | △ 12,407 | 7.1 |
| 中央公 | 排出量(CO2) | 67,356 | 51,077 | 51,698 | △ 15,658 | 23.2 |
| 東部公 | 排出量(CO2) | 7,718 | 8,352 | 6,455 | △ 1,263 | 16.4 |
| 南部公 | 排出量(CO2) | 15,628 | 8,472 | 8,914 | △ 6,714 | 43.0 |
| 北部公 | 排出量(CO2) | 11,816 | 12,543 | 14,914 | 3,098 | △ 26.2 |
| 大寺公 | 排出量(CO2) | 6,697 | 5,818 | 6,556 | △ 141 | 2.1 |
| 相模公 | 排出量(CO2) | 12,802 | 11,155 | 12,279 | △ 523 | 4.1 |
| 近江公 | 排出量(CO2) | 8,172 | 7,881 | 8,991 | 819 | △ 10.0 |
| 合計 | 排出量(CO2) | 1,317,656 | 1,107,858 | 741,325 | △ 576,331 | 43.7 |